

極楽寺だより

三隅下野波瀬 3633
電話 0837(43)0625

雨の季節には、仏さまの教えを聞

き、静かにわが身をふりかえる

「安居会」「夏安居」という行事が、

お釈迦さまの頃から伝わっています。

田植時期の疲れを、お法の水で流

そうという、ゆかしい夏の法座です。

お誘いあわせ、お参り下さい。

夏法座のご案内

日時

六月二十六日（金）

昼一時半 夜七時半

六月二十七日（土）

昼一時半

講師

福岡 筑紫野市 光傳寺 住職

木村 大信 師

夜の法座は、昼間お勤めの方、特に
壮年男性の方にお参りいただきた
いとの願いで開いております。
九時終了。お待ちしております。



今年の三隅地区親鸞聖人
鑽仰会法会は、

九月四日（金）

五日（土）

中村報恩寺にて勤まり
ます。

ご講師は、

福岡 筑紫野市 中川清昭先生
をお招きします。

どうぞ、ご参拝下さい。

《後日、ご案内します。》

主催 三隅地区親鸞聖人鑽仰会

継職法要 アルバム・ビデオ 制作中!



継職法要の記録係は、一日につきカメラ係三人、ビデオ係三人という万全の体制で臨みました。その結果、写真が約七〇〇枚。ビデオは約九〇〇分という膨大な記録が残りました。せっかくの記録がお蔵入りになってはもったいないと、現在アルバムとビデオの制作に取り組んでいます。今のところ、アルバムは初日分が完成。ビデオはまだまだこれからというところです。できあがりしましたら、皆様にもお見せしたいと思います。ただ、どのシーンにも思い入れがあり、なかなか編集できません。しばらくお待ち下さい。

尚、完成した初日分のアルバムは、夏法座の時に、どなたでも見る事ができるように、本堂に置いておきます。また、法要の写真は、引き伸ばして本堂に掲示する予定です。夏法座までには、何とか掲示したいと思っています。

本願寺御影堂修復終了!

京都本願寺の御影堂が十年間の大修復を終え、去る五月二十二日から五日間にわたり、完成慶讃法要が厳修されました。全国から五万二千人が参拝し、御堂には正信偈が響き渡ったそうです。世界遺産でもある本願寺ですから、NHKもこの修復には密着して取材をしていたようで、五月三〇日には、NHK総合テレビの『ワンダーワンダー』（毎週土曜日午後十時 司会山口智充）では、御影堂特集をしておりました。ゲストは、建築家の安藤忠雄さんやつんく♂さん。（つんく♂さんは、本願寺で仏前結婚式を挙げているんです。）録画していますので、法座などの機会に、皆様にも観ていただきたいと思えます。ご希望の方には、DVDの貸し出しもいたします。また、大修復関係の番組は、NHKで既に十本近く放送しているようで、そのDVDも手配している最中です。機会を見つけては、本堂にて上映していきたいと考えています。



温もり

住職

一ヶ月以上経った今でも、未だに継職法要の余韻を引きずっています。まだまだ残っている写真やビデオの整理等はもちろんのこと、いろんな方々と法要の話をする度に、あの感動がよみがえってくるのです。

本当に温かい法要になったと思います。特に、午後の法要で稚児宿当家の方々が阿弥陀様へお供えをする”伝供”という作法を、ホワンシー・コースの歌声の中で行ったことが、象徴的でした。普通はテープやCDで音楽を流すのですが、生の歌声はやはり違いましたね。生の音には、人の温もりがありました。梵鐘もそうです。今回の法要の梵鐘は、総代さんや世話人さん方が撞かれたのです。様々な人が関わり合うことで、血が通い、温もりが生まれてくるのでしょう。一人ひとりの温もりが、この法要全体を通して感じられたということが、僕にとっては本当にうれしいことでした。

近頃は、この「温もり」がなかなか見えにくい世の中になりました。以前後輩から聞いた話なのですが、彼の会社の部署では、業務連絡をインターネットのメールでやりとりするそうです。6〜7人くらいの小さな部署。一声かければ、みんなに声が届くくらいに場所にながら、やりとりはメール。なぜこんなことをするのかというと、メールならば「私は、あなたにこの用件を伝えました」という証拠が残るからだそうです。メールを開

封すれば、開封したことを知らせるメールが返信されるよう設定してありますから、「あなたも、この用件は確認しましたね」と証拠が残る。どこに責任の所在があるかをハッキリさせるために、そんなことをするのだそうです。責任の所在が明らかにしたり、合理的なのはいいのかもしれませんが、殺伐として、乾ききっています。ところが、こちらの方が気楽でいいのだということなのでしょう。それとも、ここまでしなくてはならないほど、信頼が失われた社会になっているのでしょうか。どちらにせよ、このような環境が、どんどん当たり前のように広がっているようです。

勿論、人間同士の関わり方は、難しいものです。ややこしい問題が出てきたり、すれ違ったり、時にはストレスを抱える場合もあるでしょう。しかし、そこに血が通ったときに、温もりが生まれてくるはず。ここから信頼や出遇いというものが広がっていき、人生は深く、豊かになるのではないのでしょうか。仏教では、世界の一切は直接的にも間接的にも、何らかの形でそれぞれ関わり合っているのだといえます。その縁起の道理の上に、私は成り立っているのだ。ならば、殺伐とした関係は自分を傷つけ、温もりある関係こそが自分を育てていくのでしょうか。少しずつでも、お互いが顔を見ながら、関係に血を通していき。そんな歩みを大切にしたいと思うのです。



歓喜合唱団
ホワンシー・コース
Huānxǐ - Chorug

第27回 児童念仏奉仕団のご案内

大津東組(長門・三隅地区の浄土真宗寺院)では、夏休みを利用して小学三年生から中学一年生を対象に、ご本山参りを企画しております。是非ご参加下さい。





- ◆期 日 2009(平成21)年
7月27日(月)
~7月29日(水)二泊三日
- ◆対 象 小学三年生~中学一年生

◆参加費 38,000円(極楽寺より、些少ですが補助が出ます。)

◆申込み 7月10日までに極楽寺へ

◆日 程

7月27日	長門 ⇒ 新幹線 ⇒ 京都 (朝7時半頃出発) (西本願寺・京都散策)	 大阪の、ユニバーサルスタジオ ジャパンにも行くよ！
7月28日	京都⇒大阪ユニバーサルスタジオジャパン ⇒大阪南港よりフェリー(船中泊)	
7月29日	新門司港(朝8時頃) ⇒ 帰宅(10時すぎ)	

◆極楽寺からは、若住職が引率として参加します。

※詳細は、極楽寺までおたずね下さい。

謝 々

プルトップ回収ご協力についての御礼



いつも、プルトップ回収にご協力いただき、まことにありがとうございます。今回も19.4kg(約38,800個!)集まりました。プルトップの収益金は、県内各福祉施設の備品購入のために寄付されます。これからもご協力よろしくお願ひします。